



未来にタネをまこう。

JACCS

株主通信 第86期中間報告書 2016年4月1日～2016年9月30日

株主のみなさまへ

中期経営計画「ACT-Σ (アクト・シグマ)」の重点方針に注力し
日本を代表する先進的な
コンシューマーファイナンスカンパニーを
目指してまいります。

取締役社長

板垣康義



■当中間期の経営成績と「ACT-Σ」の進捗状況

第86期第2四半期連結累計期間(以下、中間期)の営業収益は、オートローンを中心としたクレジット事業やファイナンス事業が好調に推移したことにより、前年同期比で5.3%増の591億円となりました。費用面では、良好な調達環境による金融費用の減少や、コスト構造改革推進委員会が主導した物件費の圧縮を主因に軽減が図れ、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益ともに前年同期を上回ることができました。

当中間期は「日本を代表する先進的なコンシューマーファイナンスカンパニー」をビジョンに据えた中期経営計画「ACT-Σ」の取り組みが一段と加速しました。

重点方針「グループシナジーによる収益基盤の拡充」については、ベトナム、インドネシアに続いて、2016年5月にフィリピンで三菱自動車の販売金融会社を合併で設立しました。

「経営資源の戦略的活用による先進性の追求」については、次世代審査システムをリリースし、与信精度ならびに生産性の更なる向上を図りました。

「高度なCSRの実践」については、ボランティア活動の募集・実施など、さまざまな社会貢献活動を推進しています。

■事業別の成長戦略

当社は持続的な成長と企業価値の拡大を図るため、各事業において先進的な取り組みを行っています。

クレジット事業では、住関連分野の深耕を図りショッピングクレジットのトップライン拡大に注力しているほか、オートローンについても「WeBByオート」の活用による取扱高の拡大に取り組んでいます。

カード事業については、入会特典の見直しなどによるコスト削減と高度なプロモーション等の利用促進策を並行して実施することで、収益／費用バランスの最適化に努めています。

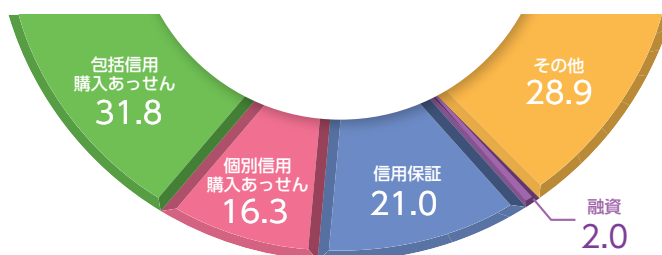
ファイナンス事業に関しては、銀行個人ローン保証の拡充を進める一方、新規提携先の開拓等を通じて住宅ローン事業の伸展を図っています。

新事業においては、大手ECショップや決済代行会社との連携が順調に進んでいる後払い決済サービス「ATODENE(アトディーネ)」の拡販にグループ一丸となって取り組んでいます。国際事業では、上述3カ国に加え、「ACT-Σ」の期間中にさらに2カ国へ進出することを検討しています。

株主のみなさまには、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

部門別情報

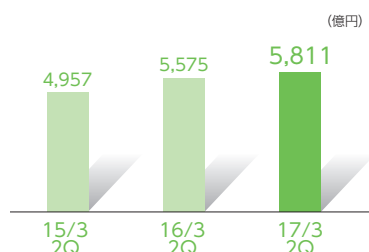
部門別取扱高構成比(%)



包括信用購入あっせん

取扱高 5,811億円

前年同期比 4.2% 増

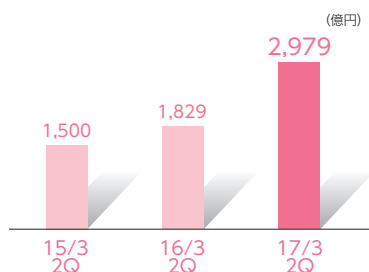


カードショッピングにつきましては、ポイント還元率の見直しを行った一部のクレジットカードの取扱減少の影響があったものの、各種利用促進プロモーションの実施及びその他提携カードの取扱が堅調に推移したことにより取扱高が増加いたしました。

個別信用購入あっせん

取扱高 2,979億円

前年同期比 62.9% 増



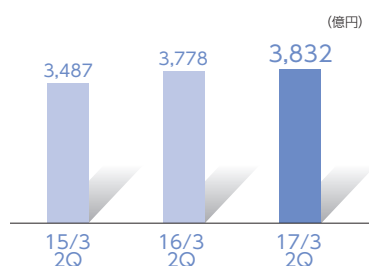
ショッピングクレジットにつきましては、主要業種である呉服、二輪、高級時計等が順調に推移いたしました。オートローンにつきましては、国産新車の取扱が低迷したもののキャプティブファイナンス(※)の取り組み強化及び各種施策の実施により、輸入車及び中古車販売店の取扱高が増加いたしました。

(※) メーカーと連携した自動車販売金融業

信用保証

取扱高 3,832億円

前年同期比 1.4% 増



銀行個人ローン保証につきましては、提携先への商品拡充等により順調に取扱の拡大を図ることができました。また、三菱東京UFJ銀行のWeb商品の拡大により、証書貸付及びカードローンの取扱高が増加いたしました。

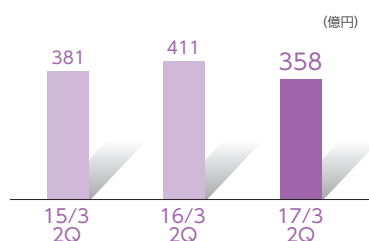
住宅ローン保証につきましては、投資用マンションの販売が好調に推移するなか、営業の強化を図ることで取扱高が増加いたしました。

住宅関連商品につきましては、ハウスメーカーを中心にリフォームローンが拡大し、取扱高は前年を上回りました。

融資

取扱高 358億円

前年同期比 13.0% 減

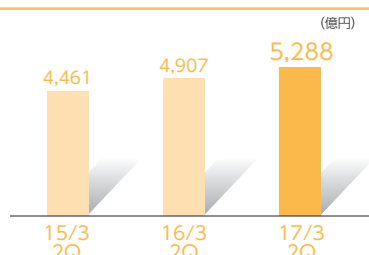


融資につきましては、カードキャッシング及びその他融資の取扱高が減少いたしました。

その他

取扱高 5,288億円

前年同期比 7.8% 増



集金代行業務につきましては、家賃・スポーツクラブ等の継続課金の取扱が順調に推移いたしました。

連結子会社につきましては、ジャックスリース株式会社におけるリース事業が堅調に推移いたしました。

★ ドン・キホーテと提携 電子マネー×クレジット機能一体型カード発行開始



当社は株式会社ドン・キホーテと提携し、2016年3月に同社の電子マネー「majica（マジカ）」とクレジット機能が一体となった「majica donpen card（マジカドンペンカード）」の発行を開始しました。

どこで使っても「majicaポイント」が貯まり、スマホアプリ「majicaアプリ」から電子マネーをチャージすることもできます。

充実したmajicaの会員サービスに加え、「ドン・キホーテで一番おトク・一番便利」を追求したカードです。

カードのデザインはブラック・レッド・ブルーの3種類からお選びいただけます。

★ 手書きでの文字入力が可能になったiPad専用システム！！

WeBBYオート

当社が提供する「WeBBYオート」は、従来の契約書類を使用せず、ペーパーレスでオートローンの申し込みがWeb上で完結できるシステムです。

「WeBBYオート」は、当初パソコンでの対応としてリリースでしたが、お客様・加盟店様から「キーボードを使用したパソコンの入力が苦手」との声が寄せられ、より簡単にご利用いただける様、検討を重ね「WeBBYオート for iPad」をリリースいたしました。

専用のiPadアプリをダウンロードしていただくことで、パソコン同様にオートローンの申し込みがWeb上で完結できるようになりました。

主な特長として、「iPad用に最適化された見やすい画面表示」、「手書きでの文字入力機能」、「入力項目に応じたキーボード表示」があげられます。キーボードを使用せず手書きで文字入力ができるので、パソコンが苦手な方でも安心してご利用いただけます。

当社は、今後も「WeBBYオート」・「WeBBYオート for iPad」の利便性を高め、お客様・加盟店様の満足度を追求していきます。





★ 北海道新幹線開業記念のハーフ／フルマラソン同時開催を強力サポート

当社は、2016年6月26日に開催された函館マラソンに特別協賛いたしました。今回は、過去25回を数える函館ハーフマラソンが、今年3月の北海道新幹線開通を記念して、フルマラソンとの同時開催となりました。

フルマラソンには、函館観光の人気スポットであるベイエリアや函館空港付近など、魅力溢れるコースが新たに加わりました。参加ランナーの総数は6,873名で、ハーフとフルを合わせて実に94%の高い完走率！となりました。

当社社員13名のランナーも無事完走を果たし、また給水所では社員ボランティアが大会運営をサポートしました。



★ 「ゴールドリボンウォーキング2016」に参加

小児がんの子どもたちをみんなで応援するウォーキングイベントに役職員とその家族37名が参加しました。



このイベントは認定NPO法人ゴールドリボン・ネットワークが、小児がんへの理解や知識の輪を広めることを目的に毎年開催しており、参加費は全額支援団体に寄付されます。また、当社では当社役職員のカード利用時のポイントの一部から寄付金を拠出し、同法人に対し継続的に寄付を行っていきます。

★ 今年度も「創業の地、函館の子どもたちに積み木を贈る」活動を実施

間伐材を活用した積み木を函館の子どもたちに届ける活動を昨年度より実施しており、今年度は全国延べ782名の役職員が積み木作りボランティアに参加し、40箱の積み木を完成させました。これまでにこの活動で函館の保育園・幼稚園64園へ75箱の積み木が行きわたりました。



★ ベトナム人学生をインターンシップにて受け入れ

日本に興味を持ちながらも、来日する機会に恵まれない学生に日本のビジネスや文化を体験する場を与えるインターンシッププログラムを3年前より実施しています。今年は当社進出国のベトナムの学生1名を受け入れ、約2ヵ月間当社の各部門で日本のビジネスを体験してもらいました。



★ がんセンター小児病棟待合室に置くおもちゃを作成

休日に本部会議室にて、役職員と家族30名が牛乳パックをリサイクルした飛び出すおもちゃ作りの活動を行いました。



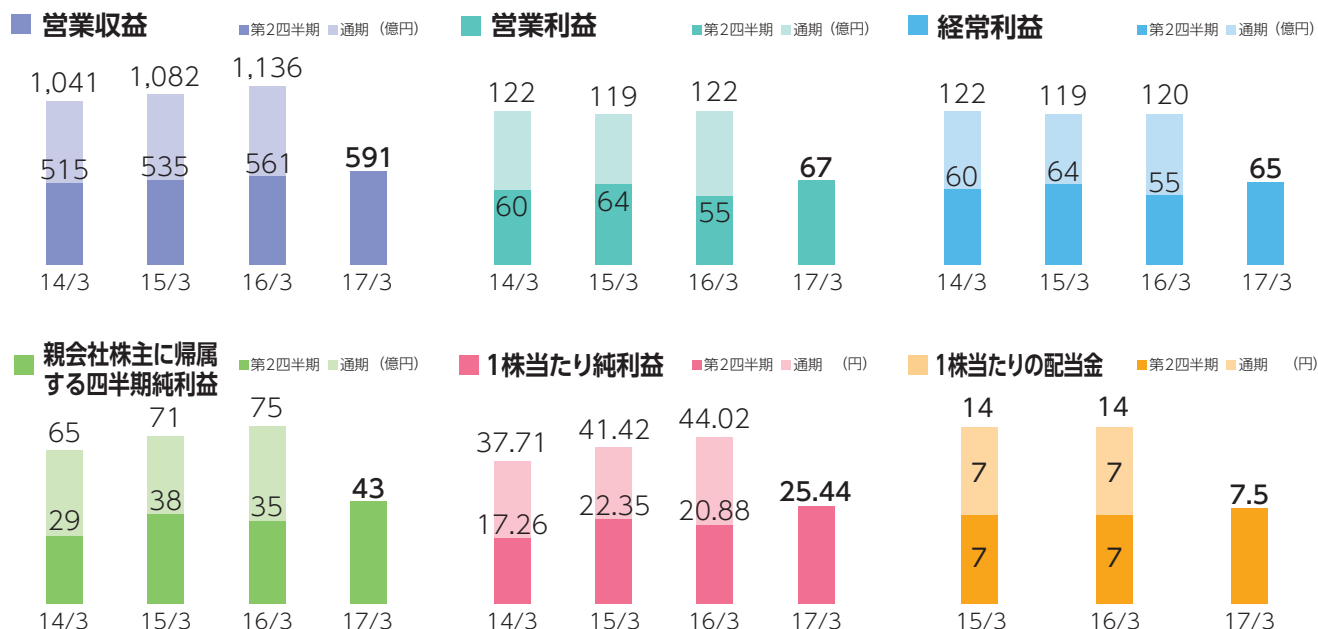
60個のおもちゃを作成し、国立がんセンター小児病棟待合室で活動している「NPO法人こどものちから」を通して、入院中や通院中の子どもとその兄弟に寄付をいたしました。



中間連結決算ハイライト

当中間期の取扱高及び営業収益は、輸入車、中古車の取扱い拡大等によりクレジット事業が堅調に推移したことや、銀行個人ローン保証等のファイナンス事業が拡大したことなどから、前年同期より増加しました。

営業利益は、金融費用が減少したことに加え、コスト構造改革が順調に進捗していることを受け、前年同期比で増益となりました。



連結財務諸表

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2016年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2016年9月30日)
資産の部		
流動資産	3,362,172	3,485,322
固定資産	75,468	74,485
有形固定資産	19,666	19,558
無形固定資産	25,441	25,473
投資その他の資産	30,359	29,453
資産合計	3,437,641	3,559,807
負債の部		
流動負債	2,839,280	2,930,116
固定負債	465,077	494,665
負債合計	3,304,358	3,424,782
純資産の部		
株主資本	129,687	132,966
資本金	16,138	16,138
資本剰余金	30,506	30,503
利益剰余金	84,451	87,631
自己株式	△1,407	△1,305
その他の包括利益累計額	3,422	1,863
その他有価証券評価差額金	4,302	3,722
繰延ヘッジ損益	△25	14
為替換算調整勘定	159	△940
退職給付に係る調整累計額	△1,013	△932
新株予約権	172	195
純資産合計	133,282	135,025
負債純資産合計	3,437,641	3,559,807

注:記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

	前第2四半期 連結累計期間 (2015年4月1日から 2015年9月30日まで)	当第2四半期 連結累計期間 (2016年4月1日から 2016年9月30日まで)
営業収益	56,184	59,139
営業費用	50,675	52,421
営業利益	5,508	6,717
営業外収益	80	33
営業外費用	69	203
経常利益	5,520	6,547
特別利益	13	2
特別損失	2	8
税金等調整前四半期純利益	5,531	6,540
法人税、住民税及び事業税	2,404	3,103
法人税等調整額	△460	△948
四半期純利益	3,587	4,385
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,587	4,385

注:記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

	前第2四半期 連結累計期間 (2015年4月1日から 2015年9月30日まで)	当第2四半期 連結累計期間 (2016年4月1日から 2016年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△68,545	△82,606
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,640	△4,108
財務活動によるキャッシュ・フロー	55,597	63,309
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	△22
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△17,589	△23,428
現金及び現金同等物の期首残高	85,491	84,073
現金及び現金同等物の四半期末残高	67,901	60,645

注:記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

会社概要

会社概要 (2016年9月30日現在)

商 号	株式会社ジャックス
英 文 社 名	JACCS CO.,LTD.
設 立 年 月 日	1954年6月29日
資 本 金	161億38百万円
本店所在地	〒040-0063 北海道函館市若松町2番5号 TEL.(0138)26-4136(代)
本部所在地	〒150-8932 東京都渋谷区恵比寿4丁目1番18号 恵比寿ネオナート TEL.(03)5448-1311(代)
従 業 員 数	2,730名 (注)従業員数には、出向者、嘱託、契約社員及び臨時雇用員は含まれておりません。

ジャックス公式フェイスブック

ジャックスの最新情報やみなさまの暮らしのためのお役立ちコラム、そして日常がちょっと楽しくなるような情報をお届けします。お楽しみに！



取締役・監査役 (2016年9月30日現在)

取締役社長 代表取締役 C E O 兼 C O O	板 垣 康 義
取 締 役 副 社 長 代 表 取 締 役 C F O	杉 山 勉
取締役専務執行役員	小 林 秀 親
取締役常務執行役員	川 上 昇
取締役常務執行役員	菅 野 峰 一
取締役常務執行役員	佐 藤 康 准
取締役上席執行役員	尾 形 茂 樹
取締役上席執行役員	山 崎 徹
取 締 役 (社 外)	神 岡 晴 夫
取 締 役 (社 外)	原 邦 明
常 勤 監 査 役	廣 井 隆 幸
常 勤 監 査 役	羽 沢 厚
監 査 役 (社 外)	藤 村 啓
監 査 役 (社 外)	村 上 眞 治

連結子会社 (2016年9月30日現在)

ジャックスリース(株)

■事業内容：リース業務、オートオークション出品代行業務

ジャックス・トータル・サービス(株)

■事業内容：損害保険・生命保険の保険代理店業、通信販売

ジャックス債権回収サービス(株)

■事業内容：「債権管理回収業に関する特別処置法（サービサー法）」に基づくサービサー業

ジャックス・ペイメント・ソリューションズ(株)

■事業内容：集金代行・後払い決済業務

JACCS International Vietnam Finance Co.,Ltd.(略称 JIVF)

■事業内容：二輪車ローン・ローンカード

持分法適用関連会社 (2016年9月30日現在)

PT Mitra Pinasthika Mustika Finance(略称 MPMF)

■事業内容：二輪・四輪車ローン

MMPC Auto Financial Services Corporation(略称 MAFS)

■事業内容：四輪車ローン

株式の状況 (2016年9月30日現在)

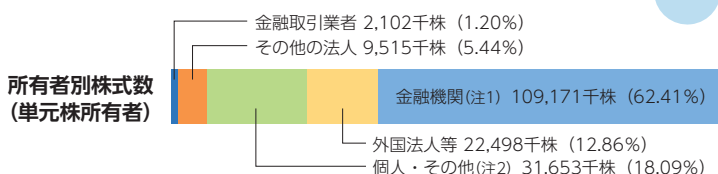
発行可能株式総数	394,550,000株
発行済株式の総数	175,395,808株
株主数	(前期末比37名増)6,544名

大株主の状況(上位10名)

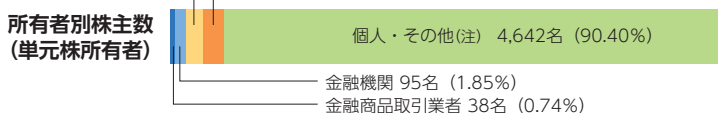
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社三菱東京UFJ銀行	35,079	20.26
日本トラスト・サービス信託銀行株式会社(信託口)	12,746	7.36
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	7,256	4.19
第一生命保険株式会社	6,799	3.92
明治安田生命保険相互会社	6,378	3.68
ジャックス共栄会	5,293	3.05
ジャックス職員持株会	3,703	2.13
上田八木短資株式会社	3,435	1.98
日本生命保険相互会社	2,940	1.69
三菱UFJ信託銀行株式会社	2,822	1.63

- (注) 1. 持株比率は、自己株式(2,310,218株)を控除して計算しております。
2. 自己株式(2,310,218株)には、日本マスタートラスト信託銀行株式会社(従業員持株ESOP信託口・75579口)が所有する当社株式615,000株を加算しておりません。
3. 持株数及び持株比率は単位未満を切り捨てて表示しております。

株式分布状況 (2016年9月30日現在)



(注1) 金融機関には、投資信託9,913千株(5.67%)や年金信託3,697千株(2.11%)など信託勘定の株式31,179千株(17.82%)が含まれております。
(注2) 個人・その他には自己株式2,310千株(1.32%)が含まれております。



(注) 個人・その他には自己株式1名が含まれております。

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 TEL 0120-232-711(通話料無料)

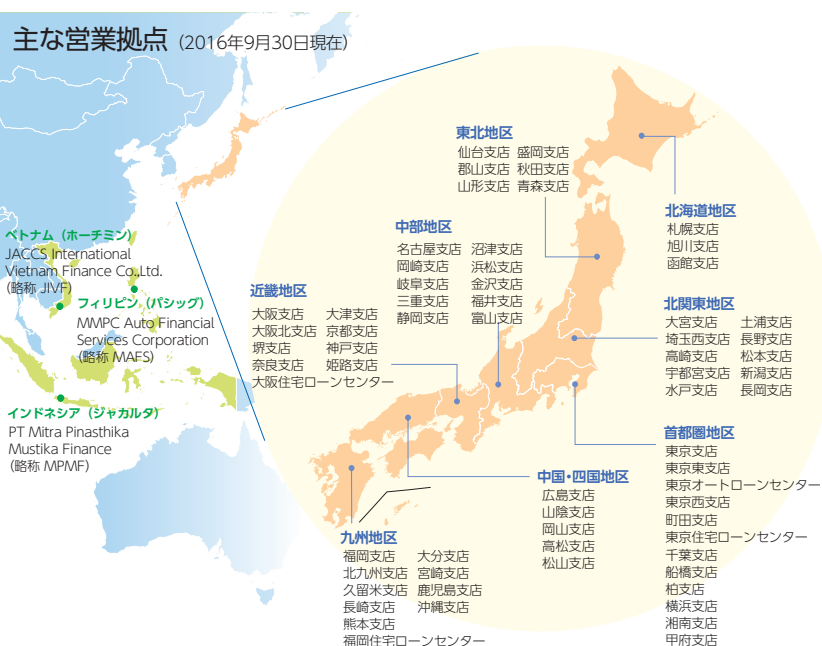
上 場 証 券 取 引 所 東京証券取引所
公 告 の 方 法 電子公告により行う。
(当社ホームページに掲載)
※やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に公告いたします。

- (ご注意)
- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
 - 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。
 - 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店支店でお支払いいたします。

株式会社ジャックス

本部 〒150-8932 東京都渋谷区恵比寿4丁目1番18号 恵比寿ネオナート
TEL 03-5448-1311(代)

当社ホームページをご覧ください。URL <http://www.jaccs.co.jp/>



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

